

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人大沼学園 東京幼稚園

1 本園の教育方針

- ・自主性を育てる
- ・創造性を高める
- ・身体的発達を助長する
- ・社会性を伸ばす

2 保育目標

年少

まず幼稚園という環境に慣れることと、基本的な生活習慣を身につけていくことが目標です。月齢差や家庭での生活経験、育った環境などによる個人差はありますが、園児の成長段階に合わせて言葉掛けや環境設定などの配慮をします。まだ自分では周囲にうまく言葉で伝えられない園児の心を読みとるように心がけています。

年中

「集団生活ができるこども」をテーマとして、楽しく園生活を送りながらお友達を作る環境を整えていきます。お友達との関わりは社会生活への第一歩です。無理に関わりを持たせようとはせず、お友達の様子を見たり、遊びの中で子供同士がお互いに興味を持てるようにしていきます。その中で他者の存在を意識し、受け入れることによりお互いに影響し合って自己を形成していきます。

年長

最終学年となる年長では、さらに集中力や体力の向上を目指していきます。小学校就学に向け、文字や数の概念を身につけるとともに、人の話を聞く、自分の意思をきちんと伝える、相手の気持ちを理解するなど、集団の中での関係を構築し、より周囲と積極的に関わられるよう指導していきます。

3 本年度の重点的に取り組む目標・計画

- ・幼稚園教育要領に準拠した総合教育により、人間形成に必要な基礎をつちかい、豊かな感性とたくましく生きる子供の育成を目指す。
- ・保育や行事の目標やねらいを積極的に保護者へ発信していく。
- ・大型遊具を設置し、園の環境整備に努める。
- ・外部専門講師を招き、教育の向上を図っていく。

4 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評価	取り組み状況	評価	意見
教育方針や保育目標	A	教育方針や保育目標、重点目標について、教職員間の共通理解を深めて、実際の保育に沿わせていけるように努力している。	A	・日々の保育や行事での目標に向け、先生方が協力して行っている姿は頼もしい。
教育の質と保育力の向上	A	園児一人一人の日々の様子や気づいたこと、気になったことを話し合う時間を大切にしながら、日々の保育の充実を目指してきた。 外部専門講師（英語、体育）を定期的に招き、英語では英語を楽しんで触れること、体育では正しい身体の使い方を身につけることを目的として継続的に取り組み、教育の質の向上を図る。	A	・これからも一人一人の園児と向き合い、理解を深めることを期待したい。 ・専門講師を招いての指導は、大変有意義である。今後も継続して取り組むことにより、より一層の教育の向上を期待したい。
環境の整備及び安全確保	A	遊具の新たな設置、安全点検に努めた。感染症予防に対し、園児への手洗いの指導、保育室その他の消毒を徹底した。毎月避難訓練を実施し、災害時や不審者が侵入した際の対応を行った。	A	・大型遊具が新たに設置され、園児が夢中になって遊んでいる姿を大変うれしく思う。 ・防犯、防災を引き続き徹底してほしい。
保護者・地域との連携	A	地域の保幼小連携合同研修会や連絡協議会へ積極的に参加し、小学校との交流も一層進めていきたい。	A	・小学校との連携は今後も大変重要となると思う。より積極的に連携を図ってほしい。

評価（A：十分に成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった）

5 総合的な評価結果

評価	理由
A	それぞれの評価項目において、一定の成果があった

6 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	教育の質と保育力の向上	園内、園外の研修の充実
2	環境の整備及び安全確保	遊具、通園バスの安全対策
3	保護者・地域との連携	小学校との連携の強化、地域子育て教育相談の充実

7 学校関係者評価委員会の評価

遊具の設置など教育環境の整備、また教育水準の向上にも積極的に取り組まれており、今後も継続して一層の充実を図ってもらいたい。